

阿南ぶらりまち紀行 ～地域の輝き～

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!

第115回



出島野鳥園サポート隊

(写真提供: 宮本 勇さん)



野鳥園の全景



野鳥生息に適した湿地環境

阿南市には世界に誇れる豊かな自然環境がある。希少な生物が多く生息している、自然からの豊かな恵みを受けている場所として、平成27年2月に、市内6カ所が「阿南市生物多様性ホットスポット」に選定された。その中で、「出島野鳥園とその周辺」は、希少な野鳥が飛来する湿地であることから選ばれた。また、ここに広がる塩性湿地は、湿性植物や昆虫の生息地として県内でも貴重な場所だ。

開園から20年を経過した出島野鳥園。9ヘクタールを越す敷地には、野鳥が生息するのに適した湿地のほか、学習舎、観察小屋など生物を観察するのに充実した設備が備わっている。園には、オオタカやサンカノゴイ、アカガシラサギなど県内では最も多い約185種の野鳥が観察されていて、さながら野鳥の楽園だ。そして、この園を代表する鳥が、チュウヒとハイイロチュウヒで、両翼を広げて低空で飛翔するさまは野鳥園の王様のようだ。開園当初からチュウヒが来てくれるかどうか野鳥園の成否の指標である



野鳥解説のようす



学習舎

といわれていた。猛禽類がいるということは、それだけ生態系の裾野が広いということ。居心地が良いのか、両種とも毎年越冬している。

そんな野鳥園を支えているのが、15人の愛鳥家からなる出島野鳥園サポート隊だ。園内管理面で野鳥の生息環境をより良くするため、園を管理する県や指定管理者のサポートとして、愛鳥家ならではの助言をしている。また、毎週日曜日には園内にある学習舎で来園した人に野鳥の解説をしたり、バードウォッチングを催している。野鳥の住みよい環境づくりをめざして、環境整備に余念がない。隊長の宮本 勇さん(62歳・那賀川町)は、「私たちの身近に価値ある自然環境があるということに、気付いてほしいですね。そして、阿南の宝として、みんなですべて守ってほしいです」と話す。一度、野鳥園を訪れて鳥たちのようすをのぞいてみてはいかがだろうか。生き物が持つ豊かな個性とつながりが感じられるに違いない。